

## ＜報告事項＞ 令和4年度事業報告

### 令和4年度事業報告書

東京から排出される膨大な産業廃棄物の適正処理及び資源循環を推進していくためには、排出事業者、処理業者、都民、行政が、それぞれの責任と役割を踏まえ、連携・協働した取組を具体的に進めていくことが必要である。

令和4年度、協会は東京都との緊密な関係の下に、地球温暖化防止を見据えた資源循環に取り組んだ。また、会員における、労働災害防止の徹底、人材の確保・定着、デジタルトランスフォーメーションを進めている。

引き続き、会員サービスの改善などを図り、会員増強に努めた。

以下、主な活動を報告する。

#### 1. 適正処理・資源循環推進事業

##### (1) 調査研究事業

###### 1) 調査研究

法令改正や、資源循環産業の一翼を担う産業廃棄物処理業界の社会的役割等も十分踏まえながら、適正処理の推進と循環型社会・脱炭素社会・デジタル社会の進展に向けた調査研究を行い、国や東京都などに対し提案・要望を行った。

- ・令和5年度東京都予算要望について、都議会各政党に要望活動を行った(令和4年8月及び9月)。東京都知事への要望活動を行った(12月13日)。

(要望1)リチウムイオン電池発火防止対策の強化を。

(回答)分別回収等を、区市町村等を通じて都民に周知、工事現場の立入指導で啓発、3Rアドバイザーがオフィスビル等で助言、などを行っている。

(要望2)建設泥土改良土の利用促進を。

(回答)「東京都建設リサイクルガイドライン」で埋め戻し等の利用を促進、「東京都環境物品等調達方針(公共工事)」で優先的に調達する特別品目として定めており、利用促進の取組を進める。

(要望3)都が主導し官民をメンバーとする再生骨材利用推進協議会の設置を。

(回答)利用実態や製造状況等を業界団体にヒアリングしている。まずは都の発注工事で使用実績を重ねる。

(要望4)太陽光発電パネルのリサイクルを。

(回答)「東京都太陽光発電設備高度循環利用推進協議会」を設置している。

令和5年度からリサイクル費用の一部を補助する。

(要望5)ZEVの普及を。

(回答)令和5年度は、EVトラックに補助、充電器の購入・工事費の補助拡充等を行う、燃料電池のトラック・ごみ収集車・フォークリフトの実装化を実施する。充電設備や水素ステーションの整備を促進する。

- ・東京都のパブリックコメント、東京都環境確保条例の改正(中間のまとめ)及び東京都環境基本計画のあり方(中間のまとめ)に対して意見を提出した(6月23日)。
- ・都議会自民党との「再生骨材利用及びアスベスト処理に関する意見交換会」に参加した(5月18日)。
- ・特別区長会会長及び各特別区長あてに、23区のごみ処理手数料の早期の改定について、要望書を提出した(7月13日)。
- ・リチウムイオン電池の発火による損害額等に関するアンケートを11月に会員各位にお願いした。回答結果は12月9日に、経済産業省産業技術環境局資源循環経済課に提供した。
- ・(公社)全国産業資源循環連合会からの受託事業(脱炭素に向けた取組調査)  
2050年温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けての取組を、排出事業者と会員の処理業者に聞く調査を受託した。11月にアンケート調査(発送数は、排出事業者あて100社、会員あて約250社)を行った。12月下旬から1月末まで排出事業者及び会員それぞれ5社の事業所に赴きヒアリングを実施した。令和5年2月に全国産業資源循環連合会に調査結果を提出した。

## 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんぱい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

## (2) 研修事業

### 1) 一般研修事業

#### ① 建設廃棄物・四団体合同施設見学会・勉強会

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕 見学会：25名 勉強会：34名

参加団体：(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都中小建設業協会

(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会

期 日：10月13日

見学先施設：エム・エム・プラスチック(株)(千葉県富津市)

勉強会講師：東京都環境局資源循環推進部 計画課・産業廃棄物対策課

(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会委員

内 容：「太陽光発電設備の3R推進について」

「建設リサイクルの取組について」

「産業廃棄物業界のDX推進【東京モデル】について」

場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

② 医療廃棄物排出事業者向けセミナー ～開催なし～

[ 本協会・医療廃棄物委員会 主催 ]

③ 医療廃棄物適正処理研修会 ～開催なし～

[ 本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催 ]

④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース

[ 本協会 主催 ]

6月10日～7月1日 オンライン38名

⑤ 都立職業能力開発センターへの講師の派遣

都立職業能力開発センターからの依頼を受け、「産業廃棄物の処理・3R・脱炭素の取組」と題した講義を行うため、専務理事を講師として派遣した(12月20日)。

2) 講習会事業(許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力し、新型コロナウイルス感染防止対策として、多くはWeb申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施した。

① 新規許可申請講習会

880名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

令和4年 6月	2回	開催	137名
令和4年 7月	2回	開催	116名
令和4年 9月	2回	開催	108名
令和4年10月	1回	開催	58名
令和4年11月	2回	開催	117名
令和4年12月	1回	開催	62名
令和5年 1月	1回	開催	61名
令和5年 3月	1回	開催	60名

イ 産業廃棄物の処分課程

令和4年10月	1回	開催	47名
令和4年11月	1回	開催	42名

ウ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和4年 7月	1回	開催	72名
---------	----	----	-----

エ 特別管理産業廃棄物の処分課程

～開催なし～

② 更新許可申請講習会

1, 425名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和4年 5月	3回	開催	181名
令和4年 6月	3回	開催	216名
令和4年 7月	2回	開催	137名
令和4年 9月	2回	開催	136名
令和4年10月	3回	開催	196名
令和4年11月	1回	開催	58名
令和4年12月	2回	開催	137名
令和5年 1月	1回	開催	66名
令和5年 2月	1回	開催	59名
令和5年 3月	2回	開催	145名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

令和4年 7月	1回	開催	47名
令和5年 2月	1回	開催	47名

③ 更新許可申請講習会(講義ビデオ視聴型講習会)

51名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和4年 9月	1回	開催	25名
令和4年11月	1回	開催	26名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

～開催なし～

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

2, 413名

令和4年 5月	2回	開催	121名
令和4年 6月	5回	開催	360名
令和4年 7月	4回	開催	253名
令和4年 9月	4回	開催	285名
令和4年10月	5回	開催	324名
令和4年11月	2回	開催	125名

令和4年12月	3回	開催	191名
令和5年1月	2回	開催	139名
令和5年2月	6回	開催	406名
令和5年3月	3回	開催	209名

⑤ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会(医療関係機関等対象) 130名

令和4年12月	1回	開催	69名
令和5年2月	1回	開催	61名

⑥ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 121名

令和4年9月	1回	開催	61名
令和4年12月	1回	開催	19名
令和5年1月	1回	開催	16名
令和5年2月	1回	開催	25名

(3) 相談指導事業

会員その他業界関係者、一般企業や都民からの産業廃棄物処理業者の紹介に関する協会への問い合わせに的確に対応した。

令和4年度の相談実績

2,817 件の内訳

I. 問合せ者の内訳			II. 紹介先の内訳		
内 訳		件数	内 訳		件数
①産廃処理業関係		359	①会員を紹介		2,133
排出事業者	②建設業関係	171	②各自治体 (清掃事務所等)		202
	③行政関係 (区市町村)	77	③粗大ごみ受付センター 家電リサイクル受付センター		43
	④医療機関	151	④リサイクル関連団体		11
	⑤一般都民	948	⑤東京都(法律相談等)		235
	⑥その他	1,111	⑥JWセンター		129
				⑦その他	

## 2. 環境対策事業

### (1) 環境活動

なし

### (2) 環境対策事業

なし

### (3) 災害廃棄物対策事業

西秋川地区(あきる野市・日の出町・檜原村・奥多摩町)の災害廃棄物処理計画について多摩支部会で講演した。(6月24日)

各特別区長及び東京二十三区清掃一部事務組合管理者あてに、災害廃棄物処理協定に基づく実施細目の早期策定について、東京廃棄物事業協同組合、(一社)東京都中小建設業協会及び当協会の連名で要望書を提出した(8月18日)。

西多摩衛生組合地区(青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)の災害廃棄物処理マニュアルについての検討会(令和5年3月24日)に参加した。

## 3. 普及事業

### (1) 普及事業

#### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

#### 2) 図書等の有償頒布

##### 有償頒布図書

(4月～3月)

マニフェストシステムがよくわかる本	19部
建設廃棄物処理委託契約書	1,330部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	183部

#### 3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、(公社)全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

8月1日付値上げ(種類:産業廃棄物のみ。)の周知を行った。

また、電子マニフェストシステムについては、電子マニフェストの運用を円

滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)」[(公社)全国産業資源循環連合会 発行]の販売を行った。

**産業廃棄物管理票普及実績**

(4月～3月)

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	131,900 セット	125,000 セット	256,900 セット
	積替用	23,800 セット	21,500 セット	45,300 セット
建設系廃棄物		260,100 セット	260,000 セット	520,100 セット
合計				822,300 セット*

\* 対前年度比 94%

**電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績 (4月～3月)**

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)	9,400 セット
--------------------------	-----------

(2) **機関誌の発行事業**

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第380号から第391号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① 第380号 廃プラスチック国内有効利用に向けた実証事業の実績について
- ② 第381号 就任のご挨拶 東京都環境局／八王子市 関係職員
- ③ 第382号 [第10回定時総会]  
令和3年度 事業報告・決算報告(概要) 新役員名簿
- ④ 第383号 新任役員「就任の抱負」
- ⑤ 第384号 [多摩支部] 多摩支部会が開催された
- ⑥ 第385号 令和5年度 東京都予算で要望活動
- ⑦ 第386号 [医療廃棄物委員会] 令和4年度 医療廃棄物合同懇談会を開催
- ⑧ 第387号 東京都議会でリチウムイオン電池対策・太陽光発電パネルのリサイクルを質疑
- ⑨ 第388号 地区別懇談会(23区内)を開催
- ⑩ 第389号 新年のご挨拶 会長／東京都環境局長
- ⑪ 第390号 賀詞交歓会を3年ぶりに開催
- ⑫ 第391号 令和5年度 事業計画および予算 決まる

### (3) 会 員 事 業

#### 1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

#### ① 国内処理施設見学研修会 ～開催なし～

#### ② 安全衛生研修会

〔安全衛生推進委員会主催〕

期 日 : 令和5年2月7日 59名

内 容 : 第一部 東京労働局講演  
第二部 重機に伴う事故防止  
第三部 我が社の安全衛生

講 師 : 第一部 東京労働局安全専門官 / 第二部 重機メーカー・販売企業（日本キャタピラー合同会社・ロジスネクスト東京(株)）  
/ 第三部 (株)アンカーネットワークサービス

場 所 : エッサム神田ホール2号館

#### ③ ヒヤリハット動画を活用したKYT(危険予知訓練)

〔収集運搬委員会主催〕

期 日 : 令和4年11月18日 33名

内 容 : 同業車両に設置されたドライブレコーダーのヒヤリハット動画を使用した、ワークショップ形式の実務者研修

講 師 : (株)ハチオウ

場 所 : エッサム神田ホール2号館

#### 2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため例年行ってきた、総会後の懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

多摩支部の懇談会は実施した。(6月24日)

賀詞交歓会は3年ぶりに開催した。(令和5年1月27日)

② 会員数の維持・増加を図るため、入会希望者に対して丁寧な説明を行うなど、あらゆる機会を活用して会員数の維持・増加に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を6月15日及び11月9日に開催した。

③ 地区別懇談会(23区)を、10月31日及び11月4日に開催した。これにより、会員の声を協会の事業に反映させるとともに、新たな会員の獲得への協力をお願いした。

- ④ 第10回定時総会(令和4年5月26日)で承認された「定款第10条(会員資格の喪失)の変更」の結果、産業廃棄物処理業許可を有していた賛助会員9者の変動は以下のとおりであった。

- ・賛助会員から正会員に移行 4者
- ・賛助会員としての入会者の変更 1者
- ・資格喪失 4者

#### 会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛 助 会 員	計
令和 3 年度末 会員数	5 4 1	7 9	6 2 0
令和 4 年 4 月 1 日 会員数	5 3 9	7 8	6 1 7
令和 4 年度 入会者数	4	8	1 2
〃 退会者数	8	1 4	2 2
令和 5 年 3 月 末 会員数	5 3 6	7 7	6 1 3
令和 5 年 4 月 1 日 会員数	5 3 6	7 2	6 0 8

- ⑤ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

### 3) 顕彰・表彰事業

令和4年度は、『優良事業所表彰』6社、『功労者表彰』3名、『優良従事者表彰』4名、『感謝状』5名を表彰した。

### 4) 人材の確保に向けた採用支援

#### ① 人材確保プロジェクト

「人事担当者ネットワーク」への登録案内を、メール登録会員企業に2回一斉送信(5、6月)及び機関誌「とうきょうさんぱい」第381・385号に掲載した。令和4年度の登録者は33名であった。

6月9日、9月21日にプロジェクト会議を開催し、「人事担当者ネットワーク」での「メールニュース」の配信、11月開催予定のオンラインセミナーについて検討した。メールニュースは、第1号(7月14日)、第2号(9月27日)、第3号(10月7日)、第4号(10月26日)を配信し、オンラインセミナーは、11月16日に賛助会員の㈱マイナビによる「採用市場速報～売り手市場でも採用成功している企業の取り組みとは？」を開催した。(15社参加)

令和5年2月22日のプロジェクト会議では、令和5年度の活動について検

討した。

## ② 「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」((公財)東京しごと財団)

令和4年度より2か年事業として行う。本事業は、業界が抱える人材確保の課題を理解し、会員企業の課題に応じたセミナー・コンサルティング・業界PRツールの作成を組み合わせたオーダーメイド型支援を提供する。

12月7日にキックオフセミナーを開催した。令和4年度及び5年度の2か年に渡り、セミナー2回・各企業でのコンサルティング5回・業界PR動画の作成を行う。参加企業は当初11社から途中で10社に減少した。

## 5) 電子マニフェスト普及促進事業

東京都環境局、(公財)東京都環境公社、当協会で締結した協定に基づき、令和3年4月から2か年事業として行った。

令和4年度は対象企業を産廃エキスパート取得企業に加えて産廃プロフェッショナル取得企業までと拡大した。対象企業(155社)に本事業の案内をしたところ16社からの応募があった。

アドバイザー育成講習会を5月26日及び6月8日に行った(オンラインにて施行)。16社は、排出事業者に対して電子マニフェストの利用を促した。

## 4. 管 理 運 営

### (1) 総 会 (1回)

第10回定時総会

期 日 : 令和4年 5月26日

場 所 : エッサム神田ホール2号館

議 案 : ① 令和3年度事業報告の件

② 令和3年度決算報告承認の件

③ 理事・監事選任の件

④ 定款の一部変更承認の件

⑤ 会費規程の一部変更承認の件

⑥ 役員の報酬及び費用に関する規程の一部変更承認の件

出席者 : 440名(委任状・議決権行使書を含む)

### (2) 理事会 (定例会8回)

第74回理事会 期 日 : 令和 4年 4月13日

第75回理事会 期 日 : 令和 4年 5月10日

第76回理事会 期 日 : 令和 4年 6月 8日

第77回理事会 期 日 : 令和 4年 7月13日

第78回理事会	期日	:	令和	4年	10月	11日
第79回理事会	期日	:	令和	4年	12月	14日
第80回理事会	期日	:	令和	5年	1月	11日
第81回理事会	期日	:	令和	5年	3月	8日

### (3) 常任理事会（8回）

令和 4年	4月13日	4月26日	6月8日	7月13日	10月11日
令和 5年	1月11日	3月8日	3月28日		

### (4) 協会事務運営

#### 1) 会費の集金事務（自動振替のすすめ）

正会員会費の「預金口座振替制度」は以前から実施していたが、協会事務の効率化と請求書送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを令和元年7月の理事会で決定した。6月に新規入会者用の預金口座振替依頼書を100部購入した。現在、約8割の正会員企業が自動振替となっている。

#### 2) 会員への電子メールによる情報提供

情報提供の迅速化、複数回の連絡による周知徹底等のために、電子メールによる情報提供を進めた。

メールアドレスを登録いただいた会員数は令和5年3月末日現在、正会員は295社(全体の55%)、賛助会員は26社(全体の34%)である。

国や東京都、(公社)全国産業資源循環連合会などから急ぎの調査依頼などがあるので、会員の多くの方々のメールアドレスの登録を期待している。

## 5. 委員会・部会活動

### (1) 総務委員会

- ① 11月9日に委員会を開催し、各委員会及び部会に対して、令和5年度事業計画及び概算所要額調書を12月に提出するようお願いした。
- ② 令和5年3月28日の委員会では、令和5年度の各委員会及び部会の活動計画を確認した。

### (2) 法制度検討委員会

- ① 4月7日、9月9日、11月15日、令和5年2月15日、3月2日に委員会を開催した。
- ② 今の市場環境が必要とする廃棄物積替え保管施設について、神奈川方式(搬

入か搬出のどちらかを契約単位ごとに積換保管業者が行う方式)実現のための要件についてと、搬入・搬出ともに積替え保管業者が行わない方式(「積替え保管業」という)の実現手段について討論を行った。

- ③ 積替え保管業に関する(公社)全国産業資源循環連合会への要望案について、東京都の意見を踏まえて、引き続き委員会で検討を重ねることとした。
- ④ 新たな検討テーマを東京都の第三者評価制度の改善要望についてまとめていくこととしたところ、東京都が第三者評価制度の見直しを行うとのことだったので、3月2日の委員会で東京都と意見交換を行った。

### (3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんばい」の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月1回(年12回)委員会を開催した。
- ② 法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の協会運営への方策活動について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報、SDGsへの取組み等会員各位の事業について積極的に紹介した。
- ⑥ 委員会の中で毎月SDGsの目標を一つずつ取り上げて行った意見交換について連載を始めた。(目標1～5まで掲載)
- ⑦ 関係団体の協力を得て「温暖化防止取組強化策」について随時掲載した。
- ⑧ 会員読者の誌面への参加を求めた。

### (4) 安全衛生推進委員会

- ① 6月21日、11月8日、令和5年3月2日に委員会を開催した。
- ② 安全衛生研修会(2月7日)
- ③ 東京労働局との合同安全衛生パトロールを行った。(10月19日)
- ④ 安全衛生標語募集を行った。(8月～9月で募集、1月賀詞交歓会で表彰)
- ⑤ 協会名入り安全衛生ポスター(熱中症予防)を会員各社に配布した。(5月)
- ⑥ ヒヤリハット事例を協会機関誌に毎号掲載した。
- ⑦ 当協会の令和4年度労働災害防止計画を定めた。(5月)
- ⑧ 安全衛生規程作成の講習会動画を作成・配信した。(11月)

### (5) 収集運搬委員会

- ① 委員会を5月9日、7月5日、9月14日、令和5年2月10日に開催した。
- ② 昨年に続き、5月20日に「第2回運行管理者意見交換会」をオンラインで開催した。
- ③ 7月5日に「自動車運転の時間外上限規制及び月60時間超の時間外労働に

対する割増賃金率引上げへの対応」について、委員会内で委員各社の取組等について意見交換を実施した。

- ④ 9月14日の委員会内で労働環境の改善や従業員のモチベーションアップにつながる自社の魅力や強みを発表し合い、意見交換や質疑を行った。
- ⑤ 10月26日にBDF施設・発泡スチロール処理施設及び車両センター施設を見学後、本社にて新基幹システムの説明を受けた。
- ⑥ 11月18日、ドライブレコーダーのヒヤリハット動画を活用した、ワークショップ形式で参加者の主体性を重視した研修会を開催した。
- ⑦ 1月17日、産業廃棄物収集運搬業のニーズに基づくサービスについて、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社(AWS)との意見交換会を開催した。

#### (6) 中間処理委員会

- ① 7月28日に委員会を開催した。
- ② 11月7日に(一社)日本化学工業協会、(一社)プラスチック循環利用協会と「ケミカルリサイクルの取組状況や最近の動向」について意見交換した。
- ③ 11月11日にアマゾンウェブサービスジャパン合同会社(AWS)でDXの勉強会とAWSオフィスの見学会を実施した。  
勉強会:「アマゾンのイノベーションを支えるカルチャーとテクノロジー」  
「製造業DXに対するAWSの取組とお客様事例」  
参加者:勉強会(オンライン参加含む)26名 見学会 12名
- ④ 令和5年2月に再資源化工場の施設見学を予定したが、見学先のコロナ感染防止対策により中止した。
- ⑤ **破碎・圧縮分科会**は、5月18日にLCAの勉強会を行った。7月27日には、RE100(再生可能エネルギー)の取組について協会会員のグループ会社を招き講演いただいた。11月30日に産廃施設での重機の安全対策(磁界式二重検知装置を搭載した重機の紹介と運用)について勉強会を行った。2月27日の分科会では、令和5年度の活動詳細を決定した。
- ⑥ **焼却分科会**は、10月28日にCCUSについて勉強会を開催した。また、各社の取組の動向について情報共有した。
- ⑦ **中和・脱水分科会**は、9月6日に分科会を開催した。12月13日に廃液・汚泥処理施設(J&T環境株)の視察を行った。2月20日の分科会では、令和5年度の活動詳細を決定した。

#### (7) 建設廃棄物委員会

- ① 委員会は7月6日、11月21日に開催した。10月13日に四団体合同施

設見学会・勉強会を開催した。

- ② **建設混合廃棄物分科会**は6月7日に一都三県建設混合廃棄物意見交換会でセミナーを開催した。参加者：46名

「建設廃棄物業界のDX推進事業【東京モデル】」について、一都三県協会と建設廃棄物協同組合の建設混合廃棄物処理業者でワーキンググループを設け、2チームに分けて検討を進めた。令和5年1月18日に「受渡確認・作業証明の電子化システム“建廃 Navi”」プロトタイプ説明会を開催した。説明を聞きながら実際に参加者のスマホ、タブレット等よりシステムの操作を試行した。参加者：49名

- ③ **建設汚泥・再生砕石分科会**は10月17日に産業廃棄物処理事業振興財団と「建設汚泥再生品等の有価物該当性に係る審査認証業務」について意見交換した。11月1日に東京都都市整備局と「再生砕石の滞留状況や活用策」について意見交換した。2月8日の分科会では、今後の建設泥土・コンクリートからの再生品の推進について情報共有した。

#### (8) 医療廃棄物委員会

- ① 委員会を7月15日、8月25日、10月18日、11月28日、令和5年1月30日に開催した。
- ② 8月31日、東京・神奈川の医療廃棄物委員会・部会共同で環境省へ新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望を依頼する文書を全国産業資源循環連合会に提出した。
- ③ 9月15日に**医療廃棄物合同懇談会**を開催した。  
神奈川が主催となり、東京・神奈川・静岡の三都県の医療廃棄物委員会・部会の委員が、「今回のコロナ関係の受け手等の問題点」「あらゆる物が値上げの状況での考え方」「大規模災害に対する協力体制」、について意見交換した。
- ④ 施設見学会を、3月22日に実施した。当日の様子は機関誌「とうきょうさんぱい」393号に掲載予定。

#### (9) 多摩支部

- ① **多摩支部会・研修会**

6月24日に多摩支部幹事会・支部会・講演会・研修会を開催した。

- ② **施設見学会**

10月21日～22日に予定していた施設見学会は中止した。

- ③ **多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会**

令和5年2月17日に、多摩支部幹事会、東京都多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市資源循環部廃棄物対策課との適正処理意見交換会を実施した。

(10) 青年部

- ① 幹事会を4月27日、5月27日、6月28日、7月26日、9月26日、10月25日、11月29日、12月16日、令和5年1月24日、2月21日、3月27日の計11回開催した。
- ② 定時総会は5月27日に開催した。
- ③ 9月10日に青年部コミュニケーション委員会主催にて「東京都内でできる自然体験」を行った。
- ④ 10月5日に青年部研修委員会主催にて「マネジメントゲーム研修」を実施した。
- ⑤ 1月24日に青年部新春講演会・賀詞交歓会を開催した。
- ⑥ 2月21日に首都圏外郭放水路見学会を開催した。

(11) 女性部

- ① 幹事会を4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月29日、11月17日、12月15日、令和5年2月16日、3月16日の計10回開催した。
- ② 定時総会は6月16日に開催した。
- ③ 6月10日に上智大学法学部北村ゼミにて「女性目線でみた産業廃棄物処理業の実情」という内容の講演を行った。
- ④ 臨時総会を9月29日に開催し、規約の変更を行った。
- ⑤ 10月20日に金属リサイクル施設の見学会を実施した。
- ⑥ 11月に設立された全国産業資源循環連合会女性部協議会に、女性部も参加している。
- ⑦ 12月15日に協会役員を招いて年末勉強会を開催し、廃棄物ビジネスのDXについて学んだ。
- ⑧ 2月16日にパワハラ防止に関する法律勉強会を開催した。

